
未来を壊す事は出来るかもしれないが、過去は壊す事は出来ない

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来を壊す事は出来るかもしれないが、過去は壊す事は出来ない

【Nコード】

N86930

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

未来を壊す事は出来るかもしれないが、過去を壊す事は出来ない

(前書き)

死よりもツライ

命の尊さを語るつもりはない。

命の儚さを語るつもりもない。

命の尊さや儚さを語っても命の重さは誰にも量る事は出来ないのだから。

私は自分の過去を捨ててしまったかった。自分の過去を消してしまいたかった。そして、いわゆる自殺と言われる行為を行った。別に自分の命を絶とうとした訳ではない。別に自分を殺そうとした訳ではない。過去を消してしまいたかった。捨ててしまいたかっただけだった。

自殺と言われると、自分の命を絶とうとしたように聞こえると思う。でも命を絶つ事には躊躇いがあった。何故なら過去に一度、私は自ら命を捨てようとした。それは失敗に終わり、死よりもツライ現実と向き合う形になったからだ。

だから、私は命を捨てようとした訳ではない。過去を自分の出生から今までの出来事の全てを消し去ろうとしたのだった。しかし、それも失敗に終わった。過去は消える事なく、自分に付きまとい、自殺行為の後遺症だけが苦しみとなって残った結果に終わったのである。

私だけではない筈だ。自分の過去を消し去りたい人間は。自分の過去を捨ててしまいたい人間は。

でも忠告する。過去は消せない。過去は消えない。未来を壊し、未来を潰す事は出来るかもしれないが、過去はいつまでも付きまと

う。

命の尊さを語るつもりはない。

命の儚さを語るつもりもない。

命の尊さや儚さを語っても命の重さは誰にも量る事は出来ないのだから。

私は、そう……思う。

(後書き)

苦しみ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8693o/>

未来を壊す事は出来るかもしれないが、過去は壊す事は出来ない

2010年11月12日21時30分発行